

# 令和6年通常選挙 支部区域毎の社員(渡島檜山)

## 選挙公報【詳細版】

### ●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 渡島檜山 )

- ①コールサイン : JL8LGW  
②氏名(フリガナ) : 船水 明 (フナミズ アキラ)  
③年齢 : 52歳  
④職業 : 会社員  
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

#### 力を入れている無線活動 ★外出時にハンディトランシーバーの携行をすること!

- ・東日本大震災時にハンディ機を持っていて連絡が途切れなかった経験から日常的にハンディ機を持ち歩いている
  - ・ハンディ機を活用したAPRS、D-STAR、C4FM等のモードでの運用、電車待ち時間などの隙間時間に駅前QRV
  - ・青森県支部と共催である「津軽海峡コンテスト」への上位入賞を目指しての参加
  - ・函館市内のAPRSインフラグループの構築調整、およびAPRS運用ガイドラインの啓蒙
  - ・タワーの無い自宅からワイヤーアンテナと釣竿アンテナにてDXCCやPOTAを追いかけての運用
  - ・全国各地の無線仲間とのアイボールQSOやZoomなどを使った定期的なオンラインアイボール会の参加
- 【その他】 KCJ(全国CW同好会) 8エリア地区役員

#### 支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

##### ◆ 地方からJARLの飛躍に繋がるよう盛り上げていきます ◆

##### ○隣接支部との共同事業により、新たな交流と継承の場の創設

昨年の社員総会で提案権を行使し可決された「地方本部長選挙」が今回より実施。本部長不在で支部運営に影響が出る可能性が減りました。これからも支部運営にプラスとなることを提案していきます。地方本部に協力することは勿論だが、近隣支部同士で協力して事業を行うなど知恵を出し合いノウハウの継承を行っていきます。

また、青森県支部との交流事業も継続していきます。新体制の元で協力関係をより強固なものにして行きます。

##### ○静かなVUバンドの活性化に繋がる気軽に参加できるQSOイベントを実施

コンテストは何か面倒だなという層にも参加しやすいQSOイベントを企画し、支部管内のアクティビティの向上と違法不法局対策を兼ねて実施していきます。

##### ○玩具トランシーバーとアマチュア無線の違いを感じる体験運用会を実施

特定小電力トランシーバーや玩具トランシーバーでの交信を体験して貰ったあとにアマチュア無線の体験運用を行い違いを体感することでアマチュア無線の魅力をPRしたいと考えます。

##### ○「通信訓練」だけでなく災害に備えるための視点を変えた勉強会を実施

無線機メーカーや実際の災害時に通信を行った経験グループにご協力をお願いし勉強会の開催を目指します。

##### ○安心して運用できるよう、違法不法局の根絶を目指します。

ガイダンス局運用について、平日の運用機会を増やします。80条報告方法についても周知していきます。

#### 社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

##### ◇ JARL100周年のその先へ 次の世代に託せる組織とするための活動をします! ◇

未来のために社会通念上の「当たり前」なことを実施できる組織であることを願い社員として活動していきます。

##### ・赤字財政の健全化

25年以上も続いているこの問題は資産があるうちに解決しなければ「即アウト」となる期限も迫っています。どうすれば良いかは見えてきているはず。先延ばしせず断行する決断を訴えていきます。

##### ・選挙制度の改正(全国選出社員選挙等の創設)

地域毎の選出は継続しつつ、全国区での社員選出枠の創設や20~40代までの世代別の選出枠などを創設し、若い世代の参加を促進する改正が必要と考えます。

##### ・結果の伴わない委員会のメンバーの見直しを行い若い世代への継承を進めていく

委員会で何を検討しているのか見えないものも幾つか見られます。どこに向かっているのか、いつまでに実現させるのか等を明確化が望まれます。前向きな議論が出来ない場合はメンバーを入れ替え柔軟に進められるよう訴えていきます。

また、若い世代に参加してもらい広く議論できる体制にできるよう訴えていきます。

全国の社員の皆さんと知恵を出し合い、JARLをしてアマチュア無線の未来のためになる活動をしていきます。

令和6年通常選挙 支部区域毎の社員(渡島檜山)

●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 渡島檜山)

- ①コールサイン : JH8CBH
- ②氏名(フリガナ) : 佐々木 朗
- ③年齢 : 63歳
- ④職業 : 会社員
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・第四級及び第三級アマチュア無線技士の育成に関わること
- ・第二級及び第一級アマチュア無線技士を目指す方へのサポート
- ・モースト通信(欧文・和文)の普及・発展に関わること
- ・ラジオ制作教室の企画・立案
- ・電波の正しい使い方に関わる啓発活動

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARLに対する貢献と少しバクトルがすれるかもしれませんが、支部運営を活性化させることが支部長としてJARLに対して貢献することになると考えます。所信の通り、私の公約のスローガンは「アマチュア無線 新発見・再発見」です。  
新発見では、これまでアマチュア無線への縁にふれることがなかった老若男女の方々に、アマチュア無線の楽しさを知らせ、味わってもらえるよう努めます。  
再発見では、いわゆるカムバックの応援をします。アマチュア無線から離れてしまった方などに、もう一度その楽しさを紹介し再開局を働きかけます。また、すでにアマチュア無線を楽しんでいる方においても、広報活動 事業活動を通して、アマチュア無線の楽しさ、奥深さを発見できるよう啓発活動を行っていきます。  
私は、東京HAMフェア、北海道HAMフェアなどのイベントに参加し、また全国の仲間ともネットワークを持ち、事業推進のノウハウ、アマチュア無線の社会的役割をどう果たしていくべきかということも学んできました。  
事業の推進には、やはり民意で選ばれた支部長という権限も必要であることも学びました。私は60代ではありますが、まだ60代です。私に支部運営のリーダーシップを執らせていただき、結果責任を果たしていく決意です。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

支部長としても社員としても、アマチュア無線の振興・発展のために全力を尽くしていくということは、ブレることはありません。常にその原点を見失わずに、JARLの諸活動に目を向け、応援していきます。  
私は、全国の皆さんと、毎日のように交信を楽しんでおります。ですから会員の思いや願いも理解できるどころか、大きいと思います。私はアマチュア無線の現状における課題やその解決方法の提案など、現場の声を伝えていくことができ、私は、諸イベントへの協力(企画・立案も含めて)は惜しみませんので、使命あれば、駆けつけることができます。  
私は、研修活動を企画・実践することが比較的得意分野です。社員研修の場を盛り立てていく仕事をしてみたいです。